

たもんじ 2024年7月号 交流農園便り Vol.76

7/21(日)第3回寺島なす★祭り。開催!



10時30分、開催にける想いの熱さを表したかのような強い日ざしの下、青果リレーエキシビションがスタート。毎年たもんじ交流農園とを往復する青果リレーだが、今年は猛暑を避け、会場内を4組のトーチキスでつなぐエキシビションとして実施。開会式では、祭りのテーマである寺島なすの講談(もどき)と、すみだ花体操普及員の方々による「つつじ編」が披露されたが、あたかも開会式を彩る歌姫とダンサーによるショーの如くであった。

11時からは、寺島なすメニューの優勝決定戦「N-1(なすワン)グランプリ」がスタート。酒呑童子・かめぱんカフェ×すみだ食育 good ネット×北海道芽室町・みかづき・レガート・GhostS/B/油霊・押上よしかつ・イルトベンリ・ボンズハウス・BarAmbiencekの9店による工夫をこらした寺島なすメニューに、来場者は、次々と舌鼓を打つと共に、どこに投票するかを悩みまくった。続いて「ちっちの紙芝居」や岩脇夕貴さんの「ソプラノ独唱」、「みんなで踊ろう! 寺島茄子之介音頭」他の盆踊り、クイズを交えた「江戸東京野菜トークセッション」、「和太鼓チーム演舞」などにより会場は大いに盛り上がる一方、こどもあそびのエリアや、環境フェアで書いて頂いた「寺島茄子之介」の似顔絵展示を見る方等で終日賑わった。

16時、歌う下町牧師・石川良男さんのウクレレ演奏が佳境を迎える中、青果リレーチームによる、会場の参加者100人をつなぐ「100人青果リレー」が行われ、「寺島茄子之介音頭」の盆踊りでフィナーレを飾った。

尚「N-1(なす1)グランプリ」は、「かめぱんカフェ・すみだ食育 good ネット・北海道芽室町」の連合チームの「寺島なすのピザ」がグランプリを、「押上よしかつ」の「寺島なすと鶏からの揚げ浸し黒酢仕立て」が準グランプリを獲得した。

(第3回寺島なす★祭りの詳しい内容については、「寺島なす★祭り特集号」に掲載する予定です)(末林記)



6/30(日)寺島なす初物収穫祭大盛況開催!



挨拶をする牛久理事長

江戸時代、寺島なすは早成なす(成す)として縁起物で重宝がられており、6月中に収穫する初物は高値で売買されたという逸話もあるとか。「初物収穫祭」と称したこの日は10時から「寺島なすの初採り体験!」で、共用耕作地の無肥料無農薬の菌ちゃん畝で小グループ分けて交代で収穫し、採れたばかりの寺島なすは、そのままピザに乗せてそれぞれ自由なトッピングで焼いて頂きました。

11:00からは「井戸水掛け流し水田の稲植え体験!」で、一般イメージと違い「トレイ田んぼ」(たんたんタンポと命名)なのですが、長靴不要の田植えを体験して頂きました。また14:00からは、7/21の「寺島なす★祭り」で楽しく踊るために「寺島茄子之介音頭他盆踊りの練習会!」が開かれ、参加者全員が見ようみまねで寺島茄子之介音頭、チームうめわか音頭、東京音頭等の振り付けを覚えました。と、盛りだくさんのプログラムに農園は一日中大盛況でした。

寺島なす初物収穫祭に参加して 親子あそび『元気いっぱい』代表 皆川未来さん



8:30 調理道具やテーブル出しなど会場セッティングや火おこしのお手伝いからスタート。10:00 収穫祭が始まり、子どもたちとなす、きゅうり、じゃがいもの収穫を一緒に楽しみました。採れたての寺島なすとじゃがいもを使って、子どもたちと一緒に寺島なすカレー作りを担当させていただきました。大鍋でのカレーを作るのは初めてだった為、美味しく出来るか心配でしたが、たもんじ交流農園の野菜のおかげで、野菜の旨みたっぷりの美味しいカレーが出来上がり、なすが苦手な子どもたちからも『めっちゃ美味しい』と嬉しい言葉を聞くことができると嬉しかったです♡大鍋が最後は空っぽにな



ったのを見て幸せを感じた1日でした♪

ピザ釜でのピザ作りも、今までなすのピザは食べた事が無かったので、どんな味になるのか想像が付きませんでした。なすとチーズの相性がとてもよく、ほっぺたがおちるほど美味しかったです。味ですが何よりも子どもたちが楽しそうにトッピングする姿がとても印象的でした♡



11:00 井戸水かけ流し水田の田植え体験会で、初めて田植え体験をさせていただきました。田植えは大変と思い込んでいたのですが、長靴要らずの簡単で楽しい田植えが出来ることに感動でした。井戸の冷たい水、柔らかく気持ちの良い土に触れ、稲をまっすぐに立てた瞬間、収穫までの成長が楽しみだなあ~と思いました。みんなで植えたお米を収穫して食べるのも楽しみです。

そして14:00 寺島茄子之介音頭ほか盆踊り練習会!可愛いマスコットの寺島茄子之介が楽しんでいる様子が振り付けに入っており、踊っているこちらまで楽しい気持ちになりました。みんなで輪になり合わせて踊る事で繋がりも感じる事ができました♡



私は、2024年4月~墨田区にて親子あそび『元気いっぱい』を立ち上げました。私の中では、寝ること、食べること、会話すること、運動すること、手仕事、自然に触れることなど全てがあそびだと思っています♡親子でいろいろなあそびを通して、墨田区でたくさんの方々との繋がり仲間づくりをしていきたいと思い活動しております。そんな思いから、たもんじ交流農園との、素敵なお縁を頂くことができました♡畑というあそびを通して繋がり、素敵な仲間が増え本当に感謝の気持ちでいっぱいです♡



墨田区で1番好きなのはどこですか?と質問されたら以前は、スカイツリーでしたが(笑)今は迷いなくたもんじ交流農園です^_^私の大好きな居場所を墨田区で見つける事ができました♡これから先もどんな方々との繋がりがあのかととても楽しみです^_^本当にありがとうございました♡

クラフトコーラはいかがでしたか？ カラコネオフィス 小嶋康之さん



今回、私はカラコネで「寺島なす初物収穫祭」に参加し、寺島なすを使ったクラフトコーラを提供させていただきました。まだ試作段階ですが、将来的にはカラコネの製品になればと思っています。今回、飲まれた方、味はいかがでしたでしょうか。

その他にもなすやじゃがいもの収穫や田植え体験を見たり、盆踊り練習会に参加したり、そして鉄板焼きにピザ、カレーもいただきました。子供たちが楽しそうに寺島なすの採集やじゃがいも堀り、ピザづくり、田植えをしている姿というのはとても新鮮で、この企画を運営しているてらたま協議会のみなさんはすごいなと思いました。盆踊りの練習会にも参加し、上手には踊れませんでしたでしたが、これも新鮮でとても楽しかったです。

少しずつですが、今後もカラコネとしてこのような会に参加させていただければと思っています。よろしくお願いいたします。



子供たちが楽しんでくれて良かった 中小企業診断士 広江淳良さん



とにかく「伝統」とかいう言葉に弱いのです。「将軍様に献上していた幻の江戸野菜」なんて聞いて、心が躍るのを抑えられるわけがありません。というわけで、初めて寺島なすの収穫祭に参加させていただきました。

炭火を起こして、子供たちが収穫してくれた野菜を洗って、いよいよ“焼き”に入ります。火を通すと甘味や旨味が増しますよね。粗塩や味噌で素材の味を楽しむのは定番として、ピザやカレーなんて将軍様は目からウロコだろうなあ。

子供たちがたくさん参加して楽しんでくれていたのが良かったです。田畑で実際に作物に触れることは絶対に必要な体験ですよ。お父さん、お母さんたちもおつかれさまでした。「たもんじ」が墨田区で唯一の農園だというのは驚きでしたが、これからも交流農園を盛り上げていきたいです。



汗いっぱいかいて頂いたピザは格別！ sheepstudio director photographer 高田洋三さん



たもんじ交流農園は久しぶりの訪問。収穫祭は大盛況と言っていい賑わいでした。以前来たときよりも、植物の育ちも旺盛になったみたい。たもんじ交流農園全体が元気に育ってますね！寺島なすの初ものの収穫から、地下水を組み上げてつくる、小さな棚田で行う田植えまで、イベントの内容も盛りだくさん、小さな子供からご年配まで、みんなが楽しめるのもいいですね。

ほくもなすの収穫をして、ピザ窯でピザを焼くお手伝いを少しさせてもらいました。なかなかピザ窯が温まらないのか、ピザは焼けずとも、人間はたくさん熱にあてられました。汗いっぱいかいていただいた、なすとトマトのピザは格別においしかったです！来年はビールをもってでかけよう！



6/23(日)第7回定期総会開催!!

6/23(日)、てらたま協議会 2024 年度定期総会が開かれ、『寺島なす復活プロジェクト』では、①菌ちゃん農法の継続・拡大、自根苗の育成拡大、接木苗のリベンジ、②「たもんじなす」生産 2500 個と、農家さんの生産維持、③7/21(日)第3回寺島なす★祭りの開催等が、『たもんじ交流農園プロジェクト』では、①資源循環助成金を活用したピオトープ他農園設備の適切な増強・改修工事の実施等が、また新たに設けられた『御前菜畑プロジェクト』および『ぶんか交流農園(仮称)プロジェクト』の立ち上げと推進等が、その他いろいろ細かいことを含め、3時間にもおよぶ活発な意見交換・討議の上、決議された。



NEXT STAGE 第13回 花田恵美代さん(7-1②)

～次に私がしたいこと～ “草木染 & 垂直仕立て”



先日、たもんじ交流農園に自生していたヨウシュヤマゴボウを抜きました。実と根に毒を持つものの、熟した実がきれいな色を出す植物です。このヨウシュヤマゴボウやオシロイバナなど、子どものころ、色みずを作ったり布を浸して色を付けたりして遊んでいました。その経験が尾を引いたのか、草木染に昔から興味がありました。2～3年前たもんじ交流農園でナスの枝やマリーゴールドの花を使って草木染を行なったことがあります。そのとき植物それぞれ特有の色を出すこと、色を沈着させるために使う触媒によっても違った色になることを知り、機会があったらもっとやってみたいと思うようになりました。それ以降機会を探していたのですが、今年になって素晴らしい先生に出会いました。「植物のいのちをいただくのだから、本来のきれいな色を出してあげなければ」という考え方をされる先生です。

その先生の教えを受けながら、できれば家でも染色作業をできるようにしたいと思っています。そして、いずれ畑に藍を植えて育て、それを使って藍染をやってみたいという思いもあります。



栽培といえば、垂直仕立てに取り組んでみたいと思います。これは野菜の枝葉を垂直に立てた支柱に縛り付け上へ上へと伸ばしていくと植物ホルモンが活性化し、そのおかげで農薬や肥料を使わなくても健康な野菜が育つという考えに基づいた栽培法です。更に水やり不要だと言う事なしなんだけど・・・。



これまでに染めたもの。赤いのは毛糸のショールインド茜染め、緑は絹糸のよもぎ染め、巾着袋はピワの葉染め



“てらたま農園部から”

第32回～寺島なす、今年も豊作！でも青枯病にご注意!!～



共有区画の菌ちゃん畝の自根と接木の寺島なすですが、今年自根の寺島なすの生育がすこぶる良く収穫も順調です。7月に入ってから収穫後の枝の切り落としもしています。理由は実が着いた枝を切ることで新しい枝に栄養が行き渡るからです。切り方は実を採ったところより根元側を切りますが、大事なものは必ず葉の付いた枝を残すということです。こうすることで新しい枝が伸びて実を付けてくれます。

ところで、今年は同じ菌ちゃん畝の寺島なすに青枯病が発生しています。雨が続き晴れて気温が上がることで土壌中の細菌が活発化し病気が発生するようです。枯れた部分を切った様子を見ているものや、すでに株ごと抜いているのも数本あります。この時枯れた株を切ったハサミは必ず消毒して(手指用アルコールもしくは石鹸で洗い流す)他に広げないように気をつけています。



青枯病で使ったハサミは必ず消毒してください!!

土の着いた汚れた支柱も要注意です。農園では日頃使う共有の道具はきれいに片付けることと思います。私達が使うシャベルやハサミが綺麗になっていると気持ちが良いものです。人が感じるように土や野菜や花にも同じことが言えるのかもしれない。

水口アドバイザーご指導日: 8/11(日) 9/8(日) 10:00～15:00

農園部作業日: 毎週日曜 8:30～

Free Coffee フリーコーヒー: 8/10(土) 11:00～

農園を眺めながらコーヒーのある時間を楽しみましょう!



たもんじ交流農園便り
No.76 般 2024.7.31 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)
▲セブン-イレブン 記念財団 (2018年 2020年に助成金を頂きました)

